

# 旭川市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km<sup>2</sup>、人口は2023年4月1日時点で322,527人である。人口は2000年より減少に転じ、それにもなって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。

そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

人口1人あたりの年間利用回数7.1回

## 令和5年度事業概要

米飯地区と東旭川駅周辺間を結ぶ米飯線において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。

## 地域公共交通の現況

- ・ 旭川中央交通 (株) デマンド米飯線
- ・ 旭川電気軌道 (株) 72系統
- ・ 道北バス (株) 61系統
- ・ JR北海道 (株) 4路線

## 協議会開催状況

令和4年6月30日

- 令和4年度 第1回旭川市地域公共交通会議
- －旭川市生活交通確保維持改善計画の承認

令和5年1月16日

- 令和4年度 第2回旭川市地域公共交通会議
- －地域公共交通計画の見直し等について
- －デマンド交通米飯線の実績報告
- －北海道運輸局補助事業の事業評価

令和5年4月28日

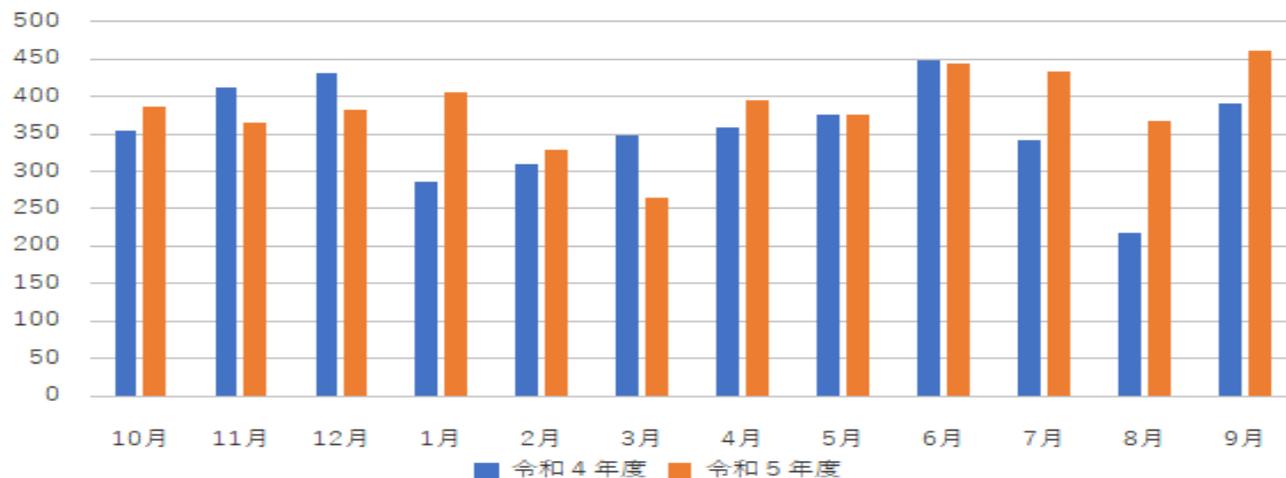
- 令和5年度 第1回旭川市地域公共交通会議
- －旭川市生活交通確保維持改善計画について

令和6年1月11日

- 令和5年度 第2回旭川市地域公共交通会議
- －デマンド交通米飯線の実績報告
- －北海道運輸局補助事業の事業評価

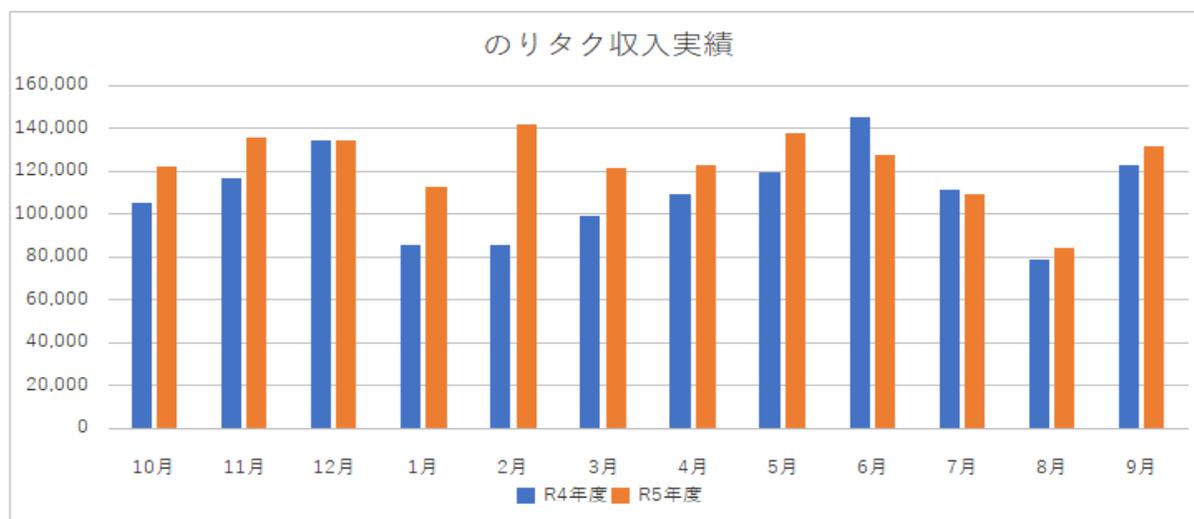


### 3) 利用実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
令和4年度	354	410	431	285	309	348	358	374	448	340	216	390	4,263人
令和5年度	386	365	382	405	328	264	394	375	444	432	367	459	4,601人

### 4) 収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R4年度	104,682	116,500	134,180	85,545	85,136	98,818	108,773	119,273	144,864	111,045	78,636	122,455	1,309,907円
R5年度	121,909	135,500	133,773	112,091	141,318	121,273	122,864	137,727	127,500	109,000	83,682	131,545	1,478,182円

## 5) 事業実施の適切性

計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。

## 7) 事業の今後の改善点

意見交換会等の取組を通じて、実際に当該路線を利用している者の移動目的、用事の時間等を把握し、実態に沿った時刻等の設定を検討し、利便性及び生産性の向上を図る。

## 6) 目標・効果達成状況

計画に位置づけられた目標は、人口1人あたりの年間利用回数7.1回であったが、実績は6.4回にとどまった。

## 8) 地方運輸局等における二次評価結果

(令和6年度分と併せて評価)